

# 出来形管理基準及び規格値 第24編 ため池編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
24 ため池編	1 ため池	4 堤体工			堤体工	基準高	±100
						堤幅 w1~w2	天端幅、小段幅等 -100
						法長 l1~l3	-100
						施工延長 L	-200
24 ため池編	1 ため池	7 洪水吐工	2		洪水吐工	基準高	±30
						厚さ t1~t5	±20
						幅 w1~w2	±30
						高さ h	±30
						施工延長 L	-150
						スパン長 l	直線部 ±20 曲線部 ±30

: 出来形管理図表を作成する。  
: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位: mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1. 施工延長20mにつき1箇所割合で測定。 2. 一施工単位 2 箇所以上測定。		1. 鋼土の幅は、盛土高1m毎に管理する。 2. 測定は原則として水平距離とするが、法長の場合は斜距離とする。 3. 出来形測定と写真は同一箇所で行う。 4. 出来形図は、横断面図を利用して作成する。
1. 施工延長1 スパンにつき1箇所測定。 2. 箇所単位のものについては適宜構造図の寸法表示箇所を測定		スパン長の標準を 9 m とした場合

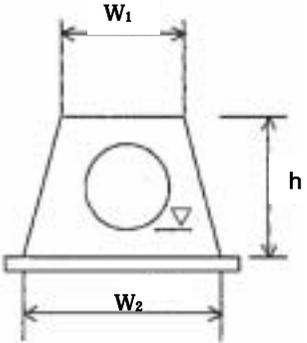
## 出来形管理基準及び規格値 第24編 ため池編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
24 ため池編	1 ため池	8 取水施設工	2		樋管工	基 準 高	± 30
						厚 さ t	- 20
						幅 w1 ~ w2	- 20
						高 さ h	- 20
						施工延長 L	- 150
24 ため池編	1 ため池	8 取水施設工	4		ゲート製作据付工 (土砂吐ゲート等)	基 準 高	± 30
						厚 さ t	- 20
						幅 w	- 20
						高 さ h	- 20

: 出来形管理図表を作成する。

: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位: mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施工延長10mにつき1 箇所測定。</li> <li>2. ジョイント間隔については、1本毎に測定。</li> <li>3. 箇所単位のものについては、適宜構造図の寸法表示箇所を測定する。</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基準高は管底を原則とする。</li> <li>2. コンクリート二次製品の場合である。</li> <li>3. 底樋がトンネルの場合は、別途定めること。</li> <li>4. 斜樋等付帯構造物の、基準高は、取水孔(ゲート中心)の標高とし、高さは斜面直角方向とする。</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施工延長10mにつき1 箇所測定。</li> <li>2. 一施工単位 2 箇所以上測定。</li> <li>3. 箇所単位のものについては適宜構造図の寸法表示箇所を測定。</li> </ol>		